

# 開業

## ストーリー STORY

# 「女性に優しい」をコンセプトに 診療でなくても立ち寄りしたい 身近な場所を目指す

**富川盛雅** とみかわ医院 院長



とみかわ・もりまさ

●1989年九州大学医学部卒業後、九州大学医学部第二外科に入局。その後、米国カリフォルニア大学消化器科博士研究員、九州医療センター、九州大学病院准教授、福岡市民病院外科部長・消化器センター長などを経て、20年9月、とみかわ医院を開業

### 若い世代が多い地域で 女性患者を意識して開業

——開業を考えたのはいつからですか。

富川 ●実家が石垣島で診療所を経営していましたが、4年ほど前から本格的に開業を考えるようになりました。開業前の数カ月は非常勤医となつて時間を確保し、土地も自分で探すなどじっくりと腰を据えて開業準備を進めました。

——現在地を選ばれた理由は？

富川 ●当院は、福岡市の中心地天神から地下鉄で1駅の、飲食店や商店の多い場所にあります。ビジネス街も近く働き盛りの世代が多く利用するほか、周囲にマンションも多いので、比較的若い世代に

も来ていただけるのではと考えました。また、1km圏内に診療所が少ないことも理由のひとつです。

——診療所のコンセプトを教えてください。

富川 ●当院のコンセプトは「女性に優しい」です。当院は、私が専門としている内科、胃腸内科に加えて、乳腺外科の診療・検査もメインにしています。周辺は若い家族も多いので、女性にかかりつけ医と認識されることで、その家族にもアピールできると考え、女性に照準を合わせた診療所にしました。幅広く女性の生活を支えるために、皮膚科も加えました。乳腺外科に注力したのは、外科での勤務時代に乳がんが増えていくことを実感したからです。マンモグラフィは必ず入れたかったので、銀行からの反対もありまし

たが根気強く事業計画を立て直して導入しました。また、準備段階から知り合いに声をかけて女性医師を探し、週に1回、女性医師の診察日を設けました。

内科・胃腸内科では検査機能を充実させようと、検査室、前処置室、化粧室をそれぞれ2つずつ設置しました。2階建ての建物のうち2階のワンフロアを内科・胃腸内科にしていますが、土地が20坪と狭いので動線を工夫しています。診察室と検査室をつなげ、患者と医師がスムーズに移動できるようにしました。また内視鏡検査用のベッドはリクライニング機能で車いすのように使えるものを導入し、患者が乗ったまま職員が押すことで、狭い通路も効率よく移動できるようにしました。

### 子育て支援・栄養・薬膳で 立ち寄りやすい仕掛けを

——建物のこだわりは？

富川 ●「誰かの家にいるような、リラックスできるアットホームな雰囲気づくり」を重視しました。外観も一軒家のような佇まいで、特に乳腺外科まわりの壁紙やインテリア、検査着などは、リラックス



女性専門医の診療日は外の看板を入れ替えてアピール



薬膳スペースでは調理も可能。薬膳教室、栄養教室を開催する

とみかわ医院  
〒810-0042  
福岡市中央区赤坂3-13-1  
TEL : 092-720-2550  
URL : <https://tommys-clinic.jp/>  
診療科目：内科・胃腸内科・皮膚科・乳腺外科

## 富川院長に聞きました 開業Q&A

### Q1 業者の選定は？

昔から付き合いのあった山下医科器械株式会社に開業まで手伝ってもらいました。ロゴマークなどのデザインは、デザイナーの小西早苗さんをお願いして、統一感を出しました。

### Q2 最も高額な設備は？

マンモグラフィが一番高額になります。高額だったため、銀行からの反対がありましたが、根気強く事業計画を立て直して導入しました。

### Q3 開業初日の患者数は？

6人。内科と胃腸内科の患者さんが多かったです。

## 開業ロードマップ

2016年9月頃  
開業を決意

2019年5月  
土地決定

2020年8月29日  
内覧会開催

約100人が来院

2020年9月1日  
開業



検査室の天井には、暗くすると星空があらわれる仕掛けも

スでできるようなデザインを女性職員の意見も取り入れて選び、検査前の不安をケアする工夫をしています。

雰囲気だけではなく、診療や検査以外でも気軽に立ち寄ってもらえる仕掛けをつくっています。

その1つが、福岡市が運営する「赤ちゃんの駅」の施設登録です。これは、地域全体で乳幼児親子が外出しやすい環境づくりを進めることを目的に、授乳やオムツ交換のスペースがある施設を外からわかるように掲示し、積極的に利用を呼びかけるものです。当院では屋外にのぼり旗を掲げ、通りすがりの方でも利用しやすいように、入り口のすぐ隣にオムツ台のある多目的トイレを設置しました。検査の前処置室は授乳室としても利用できるようにして、ミルク用の

お湯なども提供しています。

さらに、診療以外にも気軽に来てもらえる診療所を目指し、未病にもアプローチしています。具体的には、管理栄養士が食事指導を行うほか、国際薬膳師が中薬膳の観点から、病状に応じた薬膳のアドバイスや適切な漢方薬の提案なども行っています。待合の一角には薬膳コーナーを設置し、今後は栄養教室や薬膳教室などを開催して、診療や検査以外での来院のきっかけを積極的につくる計画です。

——ロゴマークやホームページのこだわりを教えてください。

富川●ロゴマークは、知り合いのデザイナーとつくりました。「富」の字をモチーフに、当院の「人を大切に優しく包み込み寄り添う姿勢」を表しています。

同じデザイナーに、看板や診察

券、封筒や検査結果の出力用紙などすべてのデザインを一括して依頼することで、優しくアットホームなイメージで統一することができました。また、ノベルティとしては珍しい、オリジナルマスクングテープも好評です。

——今後の目標と、これから開業を考えている医師にアドバイスをお願いします。

富川●開業したばかりなので、まずは黒字化と経営の安定が最優先の目標です。アドバイスとしては、開業は目標ではなくスタートと伝えたいです。私自身も、準備期間中は理想の医療をイメージし、多くの人の協力を得て楽しく準備を進めてきました。開業したこれからは、地域の健康を支えるため、責任をもって診療所の経営に尽力していきたいです。